

ちいきじゅうみん あんぜん あんしん かつどう
地域住民の安全・安心のために活動する



しょうぼうだん 消防団 を知ろう！！

消防団は、火事や地震など災害が起きたときなどに、消防士と協力して、

地域住民のために活動しています。“消防団”について学んでみよう！！



消防団について、もっと見てみたい

ひと人は、ぎふの消防団ポータルサイトを

チェックしてみよう。消防団の活動

しゃしんの写真がいっぱい載っているよ。

ぎふの消防団ポータルサイト

岐阜県内の消防団 活動紹介 消防団とは？ 団員インタビュー ありがとう！応援事業所 岐阜県の施策

中津川市消防団 山県市消防団 可児市消防団 岐南町消防団

NEWS お知らせ

これまでのお知らせ

2025-12-1 [中津川市消防団] 令和7年12月14日(日) 中津川文化会館にて第30回プラスバンドフェスティバルを開催します。

2025-12-1 [瑞浪市消防団] 令和6年1月1日(日) はれま消防団・消防出初式開催

<https://www.gifu-no-shoubudan.pref.gifu.lg.jp/?act=news&id=11>

ぎふの消防団ポータルサイト

検索



しょうぼうだん 消防団ってなに？

消防団は、災害が起きたときも、起きていない時も地域のためにいろいろな活動をしています。たとえば、こんな活動をしています。

さいがい お とき かつどうれい 災害が起きた時の活動例



しょうかかつどう
消防活動



ひなん きゅうじょかつどう
避難・救助活動



どしゃ と のぞ さぎょう
土砂を取り除く作業

さいがい ときいがい かつどうれい つうじょうじ かつどうれい 災害の時以外の活動例(通常時の活動例)



ほうすいくんれん
放水訓練



そうさくくんれん
ドローン操作訓練



きゅうめいこうしう
救命講習



イベントでのP R活動



いがい しょうぼうだん
これら以外にも、消防団は
かつどう
いろいろな活動をしているよ！！

消防団員と消防士は違うの？

消防団員は、災害が起きたときなどに消防団の活動を行い、普段は、会社員などの別の仕事をします。地域の安全・安心のために活動する消防団員には、1年あたり約36,500円程度の報酬(お金)が支払われます。また、火事の出動や訓練への参加などでも別に報酬(お金)が支払われます。



一方、消防士は、消防を職業とする人たちで、いつも消防署で仕事をしています。より難しい状況で活動できるように専門的な技術を身につけて、いつでもすぐに出動できるように備えています。

どの地域にも消防士がいるのに、消防団って必要なの？

消防団は、主にその地域に住んでいる人たちがメンバーになっています。例えば、大きな災害が起きたときには、地域に住んでいる人たちのことや地域の道路、川などの状況をよく知っている消防団員は、住民の避難誘導や救助など様々な場面で大きな力を發揮します。



また、災害が起きたときには、多くの働き手が必要とされます。ですが、ここでも、普段から訓練を受けている消防団員の力は大切です。

大雨や地震など、災害の発生が心配されている現在、

災害の時に、土砂が流れ出すのをせき止める作業をする消防団員

消防団の果たす役割はますます大きなものになっています。

消防団に入ることができるのは、どんな人？

多くは、18歳以上でその地域に住んでいるか又は働いている人なら、どなたでも入団することができます。男性だけでなく女性も消防団員になることができ、岐阜県では、592人



大会に出場した女性消防団員の皆さん

(令和7年4月1日現在)の女性消防団員が様々な活動で活躍しています。また、学生も消防団員になることができます。

皆さんも、18歳になつたら、消防団での活動を考えてみてくださいね。

消防団員の数は増えているの？



消防団員の数は、全国的にも岐阜県においても、年々減っています。

消防団員が減っている原因としては、人口が減っていることや消防団の活動について十分に理解されていないこと、自分の自由な時間が減ってしまうのではないかと考える人が多くなっていることなどが挙げられます。

消防団員数の変化 (単位:人)

